

一寸光陰不可軽

人国記

中学から工業高校への進学は、家が貧乏だったし、あの当時は高卒で就職するのが当たり前だったので、自然な流れだったような気がします。もちろん、「大学に行きたい」という希望もありましたが、経済的に無理だろうと最初からあきらめていました。

基本的にモノづくりが好きでしたから、国語などの文系科目は大嫌いだっただけで、「機械加工」「鋳物加工」「溶接」といった授業は実に楽しかった。校庭の周囲に設置されているフェンスは、私たちの卒業制作です。地元業者の注文を受けて銘板を作ったり、灰皿を作って文化祭で売ったりもしていましたね。

ただ、生意気な言い方になります。が、授業の内容は物足りなかった。例えば、「鋳物」の授業なら作るのには文鎮。旋盤を扱う授業なら作るのにはつまみ……。鋳物とは何か、旋盤加工とは何

貴島 孝雄 (62) ⑤

元マツダロードスター主査

かという基礎・基本は学べたけれど、そこから先に進みなかった。作るものの対象が単純すぎたというか、もっと複雑な機構を作りたかったんです。

部活動では、サッカー部に所属していました。ポジションはフォワード。動きは俊敏でしたが体が小さいので、相手に当たられるとすぐに飛ばされちゃう。すると、レフリーは相手の反則を取ってくれる。主にフリーキックをもらう役目で、重宝されました。

県内ではベスト8が最高の、さほど強いチームではありませんでしたが、中学時代を含む6年間のサッカー経験で学んだのは「チーム活動の大切さ」です。みんながそれぞれの役割を果たしながらボールをゴールまで運び、シ



モノづくりの基礎を学んだ県立徳島東工業高校。現在は統合されて校舎は残っていない

甘い、「何しとるか」ということになる。クルマの開発チームに加わったとき、共通するものを感じました。

こうして迎えた3年の3学期。大学進学をあきらめていた私に、進路指導の先生は「東洋工業を受けてみる。あそこは株もいいし、給料も高い」と勧めてくれました。

自動車会社や建設機械メーカーへの就職を希望していた私は「トヨタや小松製作所に行きたいと考えているんだけど、

この会社は聞いたことがないな……」とちょっと躊躇し、調べてみて初めて知ったんです。私が好きだったR360クーペや3輪トラックの「マツダ」車を作っていたのが、「東洋工業」という会社だったことを。

物足りなかった高校の授業



九州・山口

産経新聞九州山口版は月々購読料3,000円の朝刊紙です。九州山口地域でも、ご自宅や会社に配達いたします。申し込みは下記のフリーダイヤルか、専用サイトで。

ニュースのご連絡は九州総局

TEL 092(741)7088
FAX 092(726)2572
kyushu@sankei.co.jp

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通5-23-8
サンライトビル3階

山口支局

TEL 083(923)3333
FAX 083(923)3334
yamaguchi@sankei.co.jp

〒753-0074
山口市中央3-6-2

購読のお申し込みは
0120(34)3733
www.sankei9.com

販売のお問い合わせは
TEL 092(741)2323

広告のご用は
TEL 06(6633)9474